

海津市地域公共交通網形成計画の数値目標の見直しについて

「海津市地域公共交通網形成計画（海津市公共交通計画）平成 27 年 7 月」において設定した計画目標（数値目標）のうち、「海津市コミュニティバス（デマンドを含む）の利用者数」については、平成 31 年度に年間 135,000 人としていた。この目標値は、平成 27 年 10 月の再編（定時定路線 8 路線⇒（定時定路線 3 路線+デマンド交通））前の利用者数（H25 年度の 131,218 人）をもとに、3%増としたものである。

しかしながら、再編後の利用者数は、高校生の利用減、運賃増による影響及び人口減などから減少傾向にあり、平成 28 年度には 110,051 人、目標の約 8 割程度の水準である。

今後、人口減が進むこと等により、コミュニティバス（デマンドを含む）利用者数は、さらに減少する可能性がある。

一方、平成 28 年度に行われた国土交通省地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価において、現状の利用者数に即して見直す必要があるとの指摘を受けている。

このため、目標値の見直しを行うものとする。

今後、市民への利用促進を促すとともに、お千代保稲荷や木曾三川公園などへの観光目的利用の PR、デマンド交通の観光利用への対応などにより、コミュニティバス（デマンドを含む）利用者数の目標を現行水準の 3%増として、次のように見直す。

- ・平成 31 年度の目標を、平成 28 年度利用者数 110,051 人の 3%増である 113,000 人とする。（再編後 1 年間の利用者数と同水準）

表 海津市コミュニティバス（デマンドを含む）年間利用者数の比較

	① 【再編前 1 年間】 H26 年 10 月～ H27 年 9 月	② 【再編後 1 年間】 H27 年 10 月～ H28 年 9 月	③平成 28 年度 【再編後 半年～1 年半】 H28 年 4 月～ H29 年 3 月	目標値 (H31 年度)
利用者数	136,481 人/年	113,117 人/年	110,051 人/年	135,000 人/年
指数（対①）	1.0	0.829	0.806	
目標に対する割合	-	0.838	0.815	1.0
備考	キッズを除く			再編前の H25 年度利用者数 131,218 人/年の 3%増

H28 年度利用者数の 3%増

変更後の目標値
113,000 人/年

【参考資料1】海津市地域公共交通網形成計画 見直し（案）

6-4 計画の目標

基本方針に基づいて、次の目標の達成を目指します。なお、総合計画による目標値が設定されている項目については、この目標値を参考に設定します。

基本方針① 養老鉄道・名阪近鉄バスのサービスの充実

- ・養老鉄道、名阪近鉄バスのサービスの充実を図ることで、市の人口減少が避けられない中であっても、市民の公共交通利用率向上、観光利用の増加等により、養老鉄道・名阪近鉄バス利用者数を維持します。

《目標指標》養老鉄道・名阪近鉄バス利用者数⇒維持

養老鉄道利用者数（市内乗降者数）	現 状：約2,700人（H24年度）
	H31年度：約2,700人
名阪近鉄バス（市内乗降者数）	現 状：約70人（H25年度実態調査）
	H31年度：約70人

基本方針② 養老鉄道・名阪近鉄バスと海津市コミュニティバスとの接続強化

- ・養老鉄道・名阪近鉄バスと海津市コミュニティバスとの乗り継ぎが円滑に行えるように、運行ダイヤの調整、待ち空間の整備等を行うとともに、公共交通が相互に結節する駅・バス停において、接続待ち時間の短縮を図ります。
- ・養老鉄道の駅乗降者数は減少傾向にありますが、海津市コミュニティバスと養老鉄道とのダイヤ調整等により、鉄道のフィーダー交通としての利便性を高め、鉄道駅乗降者数を維持します。

《目標指標》公共交通機関相互の待ち時間⇒概ね20分以内

○対象とする交通結節点

- ・養老鉄道 : 駒野駅、石津駅
- ・名阪近鉄バス : 今尾、海津市役所
- ・新幹線 : JR岐阜羽島駅
- ・名鉄 : 新羽島駅

《目標指標》海津市コミュニティバス幹線系統が接続する養老鉄道駒野駅・石津駅の乗降者数⇒維持

駒野駅	現状（H26）平日：900人/日	H31年度：900人/日
石津駅	現状（H26）平日：482人/日	H31年度：490人/日

（H26のデータは、平日の養老鉄道駅別乗降調査結果による）

【参考資料2】平成28年度地域公共交通確保維持改善に関する自己評価

(1) 形成計画の目標に対する評価（目標H31年度）

【評価】○：目標達成 ×：未達成

《基本方針①》 養老鉄道・名阪近鉄バスのサービスの充実

◇乗降者数【目標=維持】

	目標 (H31年度)	H28年度	H27年度	増減	評価	備考
養老鉄道 (市内乗降者数)	2,700人/日	3,180人/日	2,584人/日	+23.1%	○	平日
美濃松山	—	905人/日	712人/日	+27.1%	○	
石津	—	637人/日	483人/日	+31.9%	○	
美濃山崎	—	173人/日	156人/日	+10.9%	○	
駒野	—	1,122人/日	892人/日	+25.8%	○	
美濃津屋	—	343人/日	341人/日	+0.6%	○	
名阪近鉄バス (市内乗降者数)						

※養老鉄道は、乗降調査による。(H27年5月12日、H28年10月18日)

《基本方針②》 養老鉄道・名阪近鉄バスと海津市コミュニティバスとの接続強化

◇公共交通機関相互の待ち時間【目標=概ね20分以内】

H28.10のダイヤ改正時には、通勤・通学時の乗継は20分以内を目標にした。ただし、その他の時間では、20分以上がある。

◇海津市コミュニティバス幹線系統が接続する養老鉄道駒野駅・石津駅の乗降者数【目標=維持】

	目標 (H31年度)	H28年度	H27年度	評価	備考
石津駅	490人/日	637人/日	483人/日	○	平日
駒野駅	900人/日	1,122人/日	892人/日	○	

《基本方針③》 朝夕の通勤・通学対応と昼間の買い物・通院・温泉利用等の市民ニーズ及び観光に配慮した海津市コミュニティバスネットワークの形成

◇海津市コミュニティバス（デマンドを含む）の利用者数【目標=3%増】

目標 (H31年度)	H28年度	H27年度	増減	評価
135,000人/年	113,117人/年	136,481人/年	△17.1%	×

◇市民アンケート調査で「公共交通(電車・バス)の便利さ」について不満と回答した市民の割合
【目標=1/3に減少】

目標 (H31年度)	目標 (H28年度)	H28年度実績	H22実績値	評価
20.0%	30.0%	63.4%	59.1%	×

《基本方針④》公共交通を守り育てる体制づくり

◇地域ごとに海津市コミュニティバス利用者数の目標を定め、達成度を評価

【市内10地域のうち半数以上が達成】

目標 (H31年度)	H28年度	H27年度	評価
市内10地域のうち半数以上が達成	なし	なし	-

(2) 全体評価

○海津市コミュニティバスの利用者数は減少している。H27.10月の再編時に運賃を値上げした(100円→市内200円・市内外300円)ことや、高校生徒数の減や土日運行をしていないことが一因と考えられる。

○養老鉄道の利用者数は増加している。中学校の統合による電車通学の増加が寄与している。